

満百歳 おめでとうございます

10月6日、今年度めでたく満百歳を迎えられる方々に、内閣総理大臣から祝状と銀杯、町から花束などが贈られました。

贈呈に訪れた香取健康福祉センター長や町長らを笑顔で出迎えてくれた皆さん。これからもどうぞお元気にお過ごしください。



秋葉はなさん(本町)

「食事は好き嫌いなく何でも食べています」



横山芳江さん(十倉三)

「90歳まで日記をつけていました」



菅澤とみさん(粟田)

「田んぼや畑で野菜などを作っていました」



佐藤 保さん(内野)

「朝から畑を耕し、編み物も得意でした」

収穫の秋

今年もやっぱり多古の米 多古米 安全宣言!

福島第一原発事故を受け、全国有数の早場米産地である千葉県は、安全なお米を消費者に提供するため米の放射性物質検査を行いました。本町においては、予備調査を実施した14都県の中で最も早く実施したため、注目を浴びる形となりました。本調査を含め放射性物質は「検出せず」の結果、23年産米の出荷・販売ができるようになりました。

黄金色に輝く「多古米」収穫祭

9月17日、「豊饒のさと多古ふれあい事業実行委員会」主催による『都市と農村との交流事業』が島地区で開催されました。今年5月の「田植え体験」に参加した皆さんが、自ら植えた稲の刈り取りに訪れ、41人が手作業による稲刈りを体験しました。

式典においては、震災による福島県浪江町からの避難者3家族に「多古米」を贈呈し、稲刈りにも参加してもらいました。昼食には多古米のおにぎりや豚汁、野菜の天ぷらなどを味わい「多古の秋」を感じた一日となりました。

18日には、同じく島地区でANAグループ社員が主催する『ANA田米(多古米)収穫祭』が開催され90人が参加しました。



手作業による稲刈り体験



福島県浪江町からの避難者に「多古米」を贈呈

たくさん取れた「サツマイモ」

晴れ渡る空の下10月1日、島地区の畑で“NPO 法人都市と農村交流協会”と“豊饒のさと多古ふれあい事業実行委員会”共催による『第8回秋のサツマイモ掘り体験』が開かれ、東京都や船橋市などから150人が参加しました。畝を手で掘るとひょっこり顔を出すサツマイモの収穫を堪能し、昼食に用意されたふかしたてのサツマイモを口にされた皆さんからは、笑顔がこぼれました。

サツマイモの放射性物質検査を8月12日に行い、安全性を確認しました。今後は11月以降に再度検査が実施されます。そのほか、大和芋などの検査も順次行っていきます。



こんなにたくさん取れました

口いっぱいにおぼるサツマイモ

平成24年分の「裁判員候補者名簿」に記載された方 11月中に名簿記載通知が送付されます!

平成24年分の名簿に記載される人数は、全国で約28万6,000人です。また、平成22年には8,673人の方が裁判員として裁判に参加されています。

「名簿記載通知」とは?

候補者名簿に記載されたことのお知らせです。名簿は、各市町村で選挙人名簿からくじにより無作為抽出された後、裁判所で作成されます。この段階ではまだ事件の裁判員候補者に選ばれたわけではありませんので、すぐに裁判所に呼ばれることはありません。

また、通知とともに辞退希望の有無などを記載する「調査票」も送付されます。該当する項目がある場合は、ご記入の上、返送してください。

裁判員制度に関するお問い合わせ

千葉地方裁判所 ☎043-222-0165

裁判員制度ウェブサイト

<http://www.saibanin.courts.go.jp/>

町長日誌

(9月1日～30日)

9月1日	東総広域農道運営協議会監査 国民健康保険運営協議会
2日	県町村会政務調査会事業委員会(千葉市)
5日	町と県市町村課との意見交換会
6日	交通安全対策協議会
7日～16日	町議会9月定例会
10日	多古中学校体育祭
12日	総務委員会 文教・厚生委員会
13日	産業建設委員会 空港対策特別委員会協議会
14日	決算審査特別委員会
17日	小学校運動会 都市と農村との交流事業(稲刈り体験)
18日	ANA田米(あなたまい)収穫祭 多古ライオンズクラブZC例会訪問 月見家族同伴例会
21日・22日	株多古役員視察研修(東京都)
25日	コスモス祭り 成田空港圏自治体連絡協議会勉強会(成田市)
27日	北総東部土地改良区事業委員会(香取市) 介護保険事業計画等推進協議会
28日	中央保育所運動会
29日	中地区敬老会 道の駅多古開設10周年記念式典